

平成19年度

病害虫発生予察注意報（第2号）

平成19年 8月31日
茨城県病害虫防除所

畑作物や野菜の害虫ハスモンヨトウの発生が多くなると予想されます。

適期防除により被害を最小限に抑えましょう！

作物名：ダイズ，野菜類，花き類，ソバ

病害虫名：ハスモンヨトウ

[注意報の内容]

発生時期：早い

発生量：多い

発生地域：県下全域

[発令の根拠]

1. 8月第4半旬現在の、フェロモントラップへの誘殺数は、笠間市，土浦市，鉾田市で平年より多く、筑西市で平年よりやや多い。
2. 8月下旬のダイズおよびナスにおける調査では発生量はやや多い。また、レンコン，キュウリなどでも幼虫の発生が確認されている。
3. 気象予報（8月24日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高く、今後もハスモンヨトウの発生に好適な条件である。

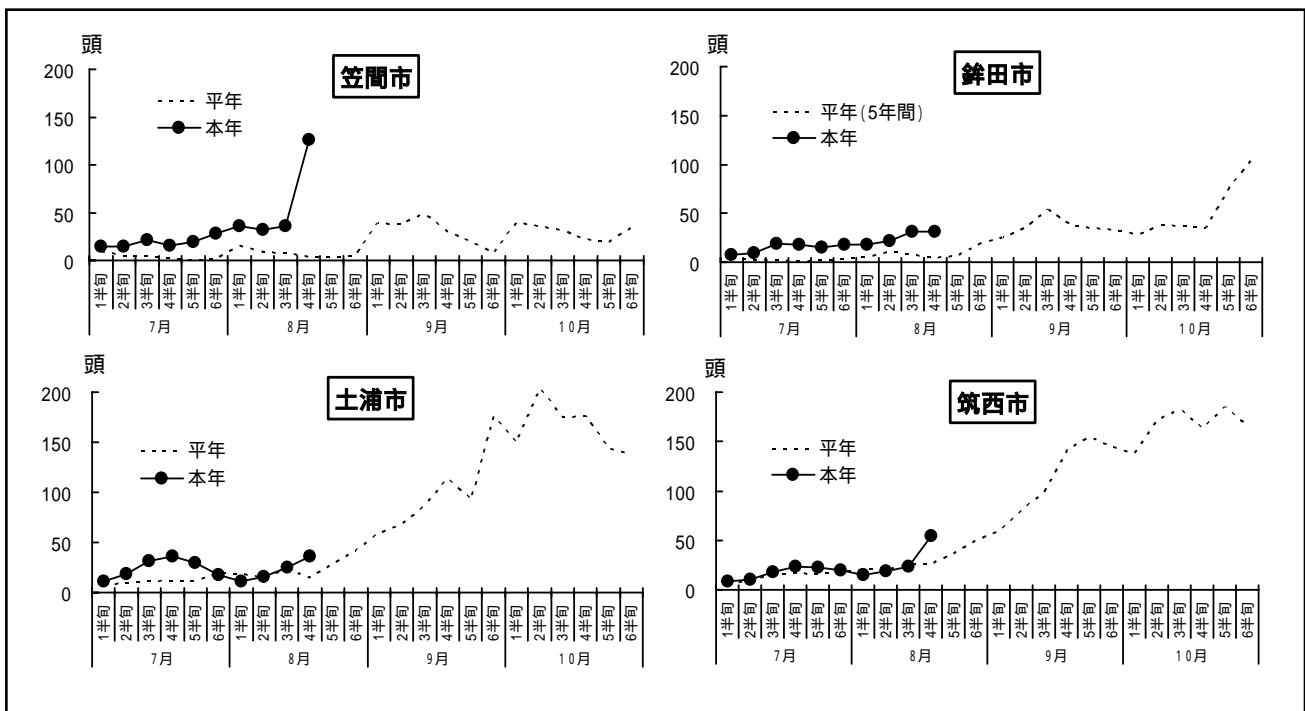


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ誘殺頭数の推移

[防除対策]

1. 圃場をよく観察し、幼虫の早期発見に努める。齢期が進むに従って薬剤の効果は低くなるため、若齢幼虫のうちに防除を徹底する。
2. レタス、ハクサイ、キャベツでは、結球への食入を防ぐため結球前に防除を徹底する。
3. ダイズでは、白変葉（若齢幼虫の集団加害によって白く透けた葉）の発生が防除の目安となる。
4. 施設栽培では、出入り口や開口部に防虫ネットを張り、成虫の侵入防止に努める。
5. 薬剤散布は、薬液が葉裏や株元にも届くよう丁寧に行う。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるために、同一系統の薬剤は連用しない。

表 ハスモンヨトウに登録のある主な農薬（平成19年8月22日現在）

系統名	作物名 薬剤名	ダイズ	ソバ	サツマイモ	ハクサイ	キャベツ	カリフラワー	ブロッコリー	トマト	ミニトマト	ナス	イチゴ	レタス	非結球レタス
		合成ピレスロイド剤	トレボン乳剤											
IGR 剤	アタブロン乳剤													
	カスケード乳剤													
	ノーモルト乳剤													
	ファルコンフロアブル													
	ロムダンフロアブル													
BT 剤	ゼンターリ顆粒水和剤													
	フローバック DF													
その他	アフーム乳剤													
	コテツフロアブル													
	トルネードフロアブル													
	プレオフロアブル													

薬剤によっては、感受性が低下し、十分な防除効果が得られない場合があるので、散布後の効果を確認する。

農薬の使用にあたっては、農薬のラベルに記載してある適用作物・使用方法・回数など使用基準及び注意事項等を確認のうえ使用して下さい。また、薬剤散布の際は、周辺作物への飛散（ドリフト）に十分注意して下さい。